

令和5年度北海道障がい者ピアサポーター養成研修 募集要領

1 目的

自ら障がいや疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障がいや疾病のある障がい者の支援を行うピアサポーター（障がい当事者）及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることを目的とする。

2 実施主体

北海道（北海道障がい者ピアサポーター養成事業コンソーシアムに委託）

3 受講対象者

(1) 北海道内の障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等に雇用等されている障がい者又は障がい者であったと認められる者若しくは障がいに準ずる疾病を有する者。（以下「障がい者等」という。）

なお、常勤、非常勤を問わず、今後雇用が見込まれる者（研修後に求職活動を始める者）を含む。

(2) 上記（1）の者が所属する障害福祉サービス事業所等の管理者等、ピアサポーターと協働して支援を行う者（以下「協働支援者」という。）

なお、今後雇用を検討している事業所等の管理者等を含む。

4 受講定員 60名

※ 申込者多数の場合は、北海道と協議の上、事務局で選考いたします。

5 研修日程及び会場

(1) 基礎研修

・1日目 令和5年11月18日（土）10時15分～15時40分（予定）

・2日目 令和5年11月19日（日）10時00分～16時15分（予定）

【会場】北星学園大学C館 C702 北海道札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

(2) 専門研修

・1日目 令和6年1月20日（土）10時00分～17時25分（予定）

・2日目 令和6年1月21日（日）10時00分～15時55分（予定）

【会場】オンライン開催（Zoom 予定）

(3) フォローアップ研修

・1日目 令和6年3月9日（土）10時00分～16時05分（予定）

・2日目 令和6年3月10日（日）10時00分～16時15分（予定）

【会場】北星学園大学C館 C702 北海道札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

※ 受付は、全日、開始30分前からです。

6 研修内容

- (1) 基礎・専門・フォローアップ研修の一体型の研修となります。
- (2) 研修カリキュラムについては別紙をご参照ください。
なお、講義時間により、科目の間に小休憩、昼休憩を設けます。

7 研修参加費用

研修会場までの旅費等又はオンライン開催の場合のオンライン接続のための費用及び設備については、受講者（所属する事業所等を含む）の負担となります。

8 申込方法及び申込期限

下記 URL または QR コードより申し込みを行ってください。

(URL)

<https://forms.gle/Y4Dv1En9HZTaVe629>

(QR コード)



※「QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。」

申込期限 令和5年10月20日（金）17:00 まで

※ 上記 URL 又はQR コードのアクセスができない場合は、以下の項目を事務局へメール（hokkaido-peer.kenshu@hokkaido-peer.net）でお知らせください。

- 事業所名（研修後に求職活動を始める者以外）
- 事業所の住所（同上）
- 指定障害福祉サービス等の種類（同上）
- 障害者ピアサポート体制（実施）加算の有無（同上）
- 申込者の氏名、メールアドレス、電話番号、役職名又は職種名
- 研修参加希望者の氏名、生年月日、メールアドレス、電話番号、役職名又は職種名、参加区分（当事者・支援者）

※ ペア（事業所単位）で参加される場合は、参加者全員の情報を記載願います。

- 研修参加希望者への配慮を要する事項（車いす、手話通訳、支援者の同席等）

9 受講決定

令和5年10月27日（金）までに受講の可否を申請時に登録したアドレスへ通知します。

10 研修修了の認定方法、受講決定の取消等

研修修了の認定は、研修毎に別紙に定めるカリキュラムの講義・演習に全て出席することを条件とし、受講日当日に本人であることを確認できる証明書（住民票の写し、健康保険証、運転免許証、パスポート等の公的機関発行の証明書）の提示等により本人確認をいたします。

また、受講申込者及び受講決定者に、以下のような行為を確認した場合は、北海道と協議の上、受講決定の取消、又は研修修了証書を発行しない場合があります。

- (1) 不適任行為（障がい者への虐待等）
- (2) 欠席・遅刻・中抜け・早退した場合
※ 公共交通機関の遅延その他やむを得ない場合を除く（遅延証明書を提出）
- (3) 受講態度が不適切な場合
※ 研修中の私語、居眠り、携帯電話の使用、他受講者への迷惑行為や受講実態が認められない行為が見受けられた場合等
- (4) ネットワーク環境の不備
※ 受講者側のインターネット接続の問題による長時間の離席、カメラ・マイクの故障により演習に参加できず改善できない場合

11 修了証書の交付

研修毎に研修修了の条件を満たした受講者に修了証書を発行します。

なお、集合研修は研修修了日に手交、オンライン研修は研修修了後に郵送します。

12 ピアサポート体制（実施）加算の取扱について

この研修は、ピアサポート体制加算、ピアサポート実施加算の要件である障害者ピアサポート研修に該当します。

当該加算は、基礎研修と専門研修の両研修の修了が要件となることに留意してください。また、加算の届出には別に要件がありますので、各事業者において必ず指定権者へご確認ください。

13 その他

- (1) 感染症等の流行の状況に応じて、換気、手指消毒やマスク着用など、感染症対策をお願いすることがあります。
- (2) 災害その他特別の事情によっては、本研修実施案内の内容に変更が生じる可能性があります。変更となった場合は、変更内容について改めて周知します。

14 お問い合わせ

北海道障がい者ピアサポーター養成事業コンソーシアム事務局

（一般社団法人北海道ピアサポート協会）

TEL：070-3339-3131（月-金 9時30分～17時）

FAX：011-595-7478

E-mail：hokkaido-peer.kenshu@hokkaido-peer.net

HP：<https://sites.google.com/view/hokkaidopeerkenshu>

※ お問い合わせ先は研修に関する窓口になります。

※ 加算に関するお問い合わせ先は、指定権者である北海道又は政令中核市（札幌市、旭川市、函館市）にご確認ください。

参考

【道内指定権者の連絡先一覧】

指定都市・中核市 総合振興局（振興局）	担当部署	電話番号
札幌市	保健福祉局障がい保健福祉部障害福祉課指定指導担当係	011-211-2938
旭川市	福祉保険部指導監査課障害担当	0166-25-9849
函館市	保健福祉部指導監査課障害等担当	0138-21-3925
空知総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0126-20-0109
石狩振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	011-204-5864
後志総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0136-23-1936
胆振総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0143-24-9841
日高振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0146-22-2559
渡島総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0138-47-9536
檜山振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0139-52-6650
上川総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0166-46-4982
留萌振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0164-42-8319
宗谷総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0162-33-2985
オホーツク総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0152-41-0690
十勝総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0155-27-8518
釧路総合振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0154-43-9254
根室振興局	保健環境部社会福祉課事業指導係	0153-23-6915

別紙

基礎研修カリキュラム（2日間）

	科目名	時間数	内容
		440分	
1	ピアサポートの理解	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい領域ごとの歴史や背景 ・ 障がい領域ごとの視点
2	【演習】①	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有
3	ピアサポートの実際・事例	70分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい領域ごとのピアサポートの実際
4	【演習】②	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ピアサポートの実際・事例」の振り返り、気づきの共有
5	コミュニケーションの基本	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション技法や経験の共有
6	【演習】③	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「コミュニケーションの基本」の振り返り、気づきの共有
7	障がい福祉サービスの基礎と実際	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい福祉施策の歴史 ・ 障がい福祉施策の仕組み
8	【演習】④	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「障がい福祉サービスの基礎と実際」の振り返り、気づきの共有
9	ピアサポートの専門性	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアサポートの具体的な専門性 ・ 倫理と守秘義務
10	【演習】⑤	50分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ピアサポートの専門性」の振り返り、気づきの共有

専門研修カリキュラム（2日間）

	科目名	時間数	内 容
		540 分	
1	基礎研修の振り返り	30 分	・ 基礎研修の振り返り
2	ピアサポーターの基礎と専門性	40 分	・ 障がい特性に応じた専門性
3	【演習】①	60 分	・ 「ピアサポーターの基礎と専門性」の振り返り、気づきの共有
4	ピアサポートの専門性の活用	40 分	・ 障がい特性に応じたピアサポートの専門性を活かすための視点
5	【演習】②	30 分	・ 「ピアサポートの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有
6	関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際 (障がい者)	各40 分	・ 関連法、関連施策
	ピアサポートを活用する技術と仕組み (協働支援者)		・ 現場におけるピアサポートの活用方法
7	【演習】③ (障がい者)	各40 分	・ 「関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際」の振り返り、気づきの共有
	【演習】③ (協働支援者)		・ 「ピアサポートを活用する技術と仕組み」の振り返り、気づきの共有
8	【演習】④ (障がい者・協働支援者)	20 分	・ 障がい者、協働支援者別講義及び演習内容についての共有
9	ピアサポーターとしての働き方 (障がい者)	各30 分	・ 労働法規
	ピアサポーターを活かす雇用 (協働支援者)		・ ピアサポーターを雇用し、協働する上での留意点

10	【演習】⑤ (障がい者)	各40分	・「ピアサポーターとしての働き方」の振り返り、気づきの共有
	【演習】⑤ (協働支援者)		・「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有
11	セルフマネジメントとバウンダリー	30分	・ピアサポーターが葛藤しやすい状況 ・病気や障がいを抱えて働く上でのセルフケア
12	【演習】⑥	40分	・「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有
13	チームアプローチ	40分	・所属機関(チーム)におけるピアサポーターの役割と協働における留意点
14	【演習】⑦	60分	・「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有

フォローアップ研修（2日間）

	科目名	時間数	内 容
		540分	
1	専門研修の振り返り	30分	・ 専門研修の振り返り
2	障がい特性	60分	・ 障がい領域ごとの障がい特性
3	働くことの意義	30分	・ ピアサポーターとして職場にもたらす効果
4	【演習】①	60分	・ 講義「働くことの意義」の振り返り、気づきの共有
5	障がい者雇用	40分	・ 障がい者雇用の実際と留意点
6	【演習】②	60分	・ 講義「障がい者雇用」の振り返り、気づきの共有
7	ピアサポーターとしての継続的な就労	60分	・ ピアサポーターとしての能力を発揮し、働き続けるために必要なポイント
8	ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション技法	60分	・ 職場内や関係機関との連携の中で発信力を高めることによる専門性の発揮方法
9	【演習】③	70分	・ 講義「ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション技法」の振り返り、気づきの共有、事例検討等
10	ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備	30分	・ ピアサポーターとして雇用される上での準備、留意点
11	【演習】④	40分	・ 講義「ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備」の振り返り、気づきの共有